

# 山雲水月

発行責任者 仁叟寺 住職 渡辺啓司

## 平成24年 住職年頭挨拶 謹賀新年



# 壬辰

「晴れてよし 雨も又よし 天祐山  
しよぶつしよぼさつ ほほえみ  
諸佛諸菩薩 微笑て迎えん」



### 平成24年 仁叟寺年間行事予定

- 1/1~1/3 年頭祈禱・年賀受
- 1/4~1/7 年始挨拶
- 1/10 年賀寺例
- 2/3 大節分会
- 2/15 釈尊涅槃会
- 3/11 大般若会大施食会法要
- 3月中旬 筆供養法要
- 3/17~3/23 春季彼岸会
- 4/8 釈尊降誕会(花祭り)
- 7/13~7/16 新暦盂蘭盆会  
京浜地区檀信徒棚経
- 7月下旬 第31回子供禅の集い
- 8/10 中元寺例
- 8/13~8/16 盂蘭盆会
- 9/19~9/25 秋季彼岸会
- 10/17~10/21 群曹青50周年記念大授戒会
- 10月下旬 檀信徒研修旅行
- 12/8 釈尊成道会
- 12/10 歳暮寺例
- 12/31 除夜会

※毎週土・日曜日 書道教室  
 ※毎週水曜日 定例坐禅会  
 ※隔週水曜日 梅花講・琴教室・華道教室

昨年は東日本大震災をはじめとし苦難と試練の年であり、我々の生き方を改めて考え直される事ばかりでありました。

上の句は、晴れの日・雨の日・風の日、何時でも変わらずに仁叟寺の全ての佛様方が、「ようこそ、ようこそ」と、【微笑】と【慈悲】で皆様を迎えていて下さる、という意味です。私達も、傍に居てくれるだけで安心する、話すだけでもホッとすると、顔見るだけで心楽しくなる、そんな大人になれる様に日々精進して仏様の御教えに近づける様、頑張りたいと願うものであります。

檀信徒各位の、家内安全・身体健勝・萬福多幸を祈念いたします。

## 平成24年 年回表

一周忌	平成二十三年	二十三回忌	平成二年
三回忌	平成二十二年	二十七回忌	昭和六十一年
七回忌	平成十八年	三十三回忌	昭和五十五年
十三回忌	平成十二年	五十回忌	昭和三十八年
十七回忌	平成八年	百回忌	大正二年

※1 以上、各ご家庭に於いてご確認下さい。  
 ※2 該当檀信徒各家には封書にて通知が届きます。  
 (但し、五十回忌・百回忌を除く)

## 今秋に群馬県曹洞宗青年会創立50周年記念 報恩大授戒会が仁叟寺にて修行されます



← 群馬県曹洞宗青年会  
三十周年授戒会記念写真



本年平成24年は、群馬県曹洞宗青年会創立50周年となる節目の年です。群馬県曹洞宗青年会は、高崎市長松寺副住職・山端耕之老師を会長に、県内の四十歳以下の若手宗侶約80名が会員として日々活動をしております。50年の歴史の中、住職も会長を務め、副住職も現在役員として会に参加しております。

記念すべき年に当たり、会では数年前より50周年事業実行委員会を発足させ、準備を進めております。その記念事業の一つとして、大本山總持寺貫首・江川辰三大禪師猊下をお迎えし、報恩大授戒会を修行する事となりました。時期は、今秋10月17日（水）～21日（日）の5日間。会場は、仁叟寺となります。詳細は、後程ご通知いたしますので、宜しくお願ひ申し上げます。

なお、平成4年に修行されました群馬県曹洞宗青年会創立30周年記念授戒会（戒師・渡辺隆司 仁叟寺東堂）も、仁叟寺を会場として執り行われましたので、ご存知の方もおられるかと思ひます。今回の戒師は、曹洞宗の大本山總持寺様より、大禪師猊下が当山に見えられる難値難遇の機会でございます。是非、この記念行事にご参加いただければと思ひます。

## 仏像（当山本尊様釈迦三尊）修復事業進捗報告



↑ 本尊釈迦如来坐像

仁叟寺本尊様の釈迦三尊佛（室町時代作・高崎市指定重要文化財）が、東京芸術大学大学院教授本間紀男先生の工房にて修復に入り二年が経過いたしました。既にお伝えいたしました通り、本尊様留守の間、仁叟寺本尊様として奥平時代の旧本尊薬師如来（平安～鎌倉時代作・高崎市指定重要文化財）が、その御代理を務められておられます。

昨年末に本間先生よりご一報があり、既に九割程、修復作業は完了いたしましたとのことです。今月中に、最終確認を兼ね、住職はじめ関係者が、作業を行っている工房に再度伺う予定になっております。

檀信徒の皆様方には、長らくお待たせいたしました。仁叟寺御本尊様・釈迦三尊像は本年中には当山へ戻って来られます。室町時代に当山に安置され、江戸時代中期に修復を施したと云われております本尊様。貴いご縁とご寄進により後世まで伝わる修復の目途が立ちましたこと、ありがたく感謝いたしております。

また、進捗がありましたら改めまして、ご報告申し上げます。



## 仁叟寺研修旅行に参加して 寄稿 齋藤利夫氏

秋の檀信徒研修旅行が10月15日に開催されました。当日の予報が、雨・風と悪い中、幸いに朝には雨も上がってくれました。今回は住職夫人関係の慶事が重なり、住職のみの参加となり、檀信徒45名が東堂夫妻や皆様の見送りにて出発です。今年は北関東自動車道の開通もあり、栃木の名刹寺院を訪れる旅です。

まずは宇都宮市大谷町の大谷寺です。朝早くの到着で先に大谷平和観音様の参拝です。大谷寺では、洞穴に刻まれた千手観音のほか石仏群に感動です。

次は、大田原市黒羽田町の大雄寺です。総萱葺屋根の大伽藍を有する曹洞宗の古刹寺院です。寺名の読みは「だいおうじ」です。次の目的地途中、烏山にて昼食です。美味しいそば料理を戴きました。昼食後、益子焼センターにて楽しく買物散策です。



↑ 総萱葺屋根の本堂（大雄寺様）

### ↓ 参加された皆様方との集合記念写真



最後の参拝は、真岡市高田の専修寺です。浄土真宗の親鸞聖人開山の寺院で、諸堂は国の重要文化財に指定されております。御影堂の聖人像に感激です。

今回は各寺院共に、直接に住職様から寺の歴史などについてお話を聞く事ができ、感動いたしました。毎回企画して下さいる住職様、総代様方に感謝申し上げます。

## 東日本大震災ボランティア活動報告（第3回） 平成23年8月25日 於、福島県南相馬市内

前回の寺報でもお伝えした通り、東日本大震災被災地にて、引き続きのボランティア活動を、副住職を中心に県内外若手宗侶有志7名がいたしました。お盆に盆句で当山に見えられた檀信徒の方々はご存知と思いますが、ご家庭内に眠っている日用品の提供を呼び掛けました。避難所から仮設住宅への引っ越しが進む中、着の身着のまま逃れて来られた方々は生活物資が不足気味との声を受け、今回のボランティア活動となりました。

結果、8月25日に福島県南相馬市鹿島区内の仮設住宅施設内にて集まった車4台分もの物資をチャリティバザーとしてお渡しする事が出来ました。賽銭箱に志を入れていただく形式のバザーで、その際に預かりました浄財（29,481円）は福島民報社を通じ、震災義捐金として寄附いたしました。

多数の物資を当山に持って来られ、貴い志を賜りました協力者各位は勿論、前回・前々回と同様に現地の窓口となりました南相馬市原町区の新祥寺野田精顕副住職には、厚く御礼申し上げます。



### → 福島民報社記事（8/26） ↑ チャリティバザー風景

避難者に生活物資支援  
群馬の曹洞宗青年僧有志  
群馬県の曹洞宗青年 仮設住宅を訪れ、避難者有志ら八人は二十五者に生活物資を支援した。南相馬市鹿島区に、牛河内第一、第四応急  
高崎市の龍泉寺住職の渡辺龍道さんを代表に、南相馬市原町区の新祥寺の野田精顕副住職、曹洞宗の総本山総持寺からも参加。ワゴ  
仮設住宅集会所で開かれた群馬曹洞宗有志のバザー  
車四台に物資を満載して訪問した。お盆に檀家に声を掛けて集めた衣類、食器やせうけいんタオル、来わんなどの生活物資を集会所に並べ、おさい銭をいたたきバザー。仮設住宅ですぐに役立つものばかりで、避難者が品定めして持ち帰った。採れたてのミョウガも配った。  
檀家が提供した水でかき氷も振る舞って喜ばれた。

## 総代長新年挨拶

### 新年明けましておめでとうございます

年頭に当たり、新年のご挨拶を申し上げます。希望に輝く新年をお迎えの事と、お慶び申し上げます。

本寺に於いては、皆様のご理解とご協力により御本尊釈迦如来様、脇侍二体様の修復作業が終了に間近に迫り、回帰が目前です。皆様の菩提寺、ご先祖様に対する信仰心と宗教観に改めて敬意を表し、感謝申し上げます。

また、本寺住職様が昨年、大本山總持寺傘下の群馬県總和会の会長に選ばれて就任いたしました。宗門全体の繁栄の為に寄与される事になりました。檀信徒としても大変喜ばしい事であり誇りに思います。これからも一層名実共に中核の寺・檀信徒であるべく努めなければなりません。

去る3月11日の東日本大震災は、自然災害だけでなくそれにより引き起こされた人災が世界に恐怖の念を与えました。また、被災者はその復興が何十年にも及び、日々の生活の確保にも苦しまなければならぬ所に追い込まれました。その苦しみは当事者のみしか解らないかも知れません。

全国民がこぞって支援に立ち上がって協力しているのも、国民全体の出来事だからです。国民全体の一体感は、仏教とは言わず我々の持つ宗教心に基づくものが大きいと思えます。日本人の秘めたる素晴らしさと言えます。

本年は是非、慶事の多からん事を願い、皆様の御一家の御繁栄と、菩提寺の護持信仰を祈念し、新年のご挨拶といたします。合掌。

平成24年壬辰元旦 仁叟寺総代人一同

(文責、総代長 井上正俊)

→井上正俊総代長



### 仁叟寺総代人一同

井上正俊	金子 明	関口益雄
篠崎和男	新井徳衛	春山 繁
矢島正義	森 久	堀越兼一

## 渡辺恵津子二級詠範 宗務所講師拜命

←管長辞令

仁叟寺及び龍源寺梅花講を指導しております渡辺恵津子住職夫人が、平成23年4月1日に、群馬県宗務所の梅花流講師を拜命いたしました。県内の梅花流詠讃歌の指導役となりました。

また現在、仁叟寺講は入講者30名程。山内各種行事でのお唱えの他、県大会や全国大会、一泊講習会等も行っております。講員さんも皆、和気藹藹と月2回程の稽古に励んでいます。新規講員さんも随時、募集中です。



## 行雲流水 (編集後記)

編集人 副住職 渡辺龍道

明けましておめでとうございます。昨年は、東日本大震災が発生し多数の方々が被災しました。改めまして物故された方々のご冥福をお祈りいたします。今なお先行き不透明な原発事故に伴う放射能問題など、復興にはまだまだこれからの感がございます。

福島県南相馬市に、同じ修行時代の友人僧がおり、有志と共に数度に亘る被災地域での慰霊及び炊き出しやバザーといった奉仕活動をさせていただきました。ご協力賜りました方々に感謝申し上げます。詳細は前回の寺報やHPで報告申し上げます通りです。このような時だからこそ、自身の出来る事を出来る範囲でしっかりと行じていく事が大切だと思っております。

本年も宜しくお願い申し上げます。(龍)

